

社会と歯学

担当講座（分野）：口腔医学講座予防歯科学分野

第3学年 前期

前期 講義 31.5時間 実習 9時間

教育成果（アウトカム）

講義：歯科保健医療を人文科学、社会科学の視点から学習することにより、我が国の保健行政および社会保障制度の枠組みの中で歯科保健医療を適切に提供しようとする態度が身につく。

実習：集団のデータを実際に採取し解析することで地域診断能力が身につく。

集団の特性に応じた教育プレゼンテーションについて資料作成、実施することで地域歯科保健計画立案能が身につく。
(ディプロマ・ポリシー：1～6、8、9)

事前学修内容及び事前学修時間（30分）

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
4月14日(金) 2限	岸光男教授	社会と歯学総論 社会における歯科医療の位置づけを理解する。	1. 世界医師総会宣言と我が国の医の倫理規定を列挙できる。 2. WHO 勧告と我が国の保健政策（健康日本21 など）との関連を説明できる。
4月19日(水) 2限	岸光男教授	歯科医療関連法規（医療法） 歯科医療における医療法の意義を理解する。	1. 医療法が規定する事項を列挙できる。 2. 医療法と医の倫理国際規定の関連を説明できる。 3. 医療安全に関する医療法の規定を列挙できる。 4. 医療施設の種類を列挙できる。 5. 医療計画を概説できる。
4月21日(金) 2限	岸光男教授	歯科医療職種と法規 歯科医療職法規を理解する。	1. 歯科医師法が規定する事項を列挙できる。 2. 歯科医師法が規定する歯科医師の任務・義務・業務を列挙できる。 3. 歯科衛生士法が規定する事項を列挙できる。 4. 歯科技工士法が規定する事項を列挙できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
4月26日(水) 2限	岸光男教授	歯科医療関連職種と法規 薬事関連法規 保健・福祉職法規 地域保健関連法規 歯科医師と連携する職種の関連法規を理解する。	1. 歯科医師と連携する職種（看護師、言語聴覚士、診療放射線技師、臨床検査技師）を列挙できる。 2. その他の医療連携職種（理学・作業療法士、視能訓練士、臨床工学技士、助産師）を列挙できる。 3. 医薬品、医療機器等法、薬剤師法を概説できる。 4. 看護師助産師保健師法を概説できる。 5. 社会福祉法、介護保険法を概説できる。
4月28日(金) 2限	岸光男教授	歯科医療に関する記録物とその管理 歯科医療に関する記録物とその管理を理解する。	1. 診療録、診断書、処方せん、歯科技工指示書、その他の記録物の記載と保存を説明できる。 2. 記録物の管理（院内管理、院外管理、電子カルテ、個人情報の保護）を説明できる。
5月10日(水) 2限	岸光男教授	地域保健、公衆衛生関連法規 地域保健、公衆衛生関連法規を理解する。	1. 健康増進法が規定する事項を列挙できる。 2. 地域保健法が規定する事項を列挙できる。 3. 食品衛生法、感染症法、予防接種法、検疫法を概説できる。
5月12日(金) 2限	非常勤講師 橋場友幹先生	歯科医療施設の管理 歯科医療施設の管理を理解する。	1. 歯科医療施設の開設、休廃止を概説できる。 2. 歯科医療施設の管理を概説できる。（含、放射線管理） 3. 広告制限、院内掲示事項を概説できる。 4. 医薬品・医療機器の安全管理責任を概説できる。 5. 医療廃棄物管理を概説できる。
5月17日(水) 2限	岸光男教授	地域保健総論 1 地域保健の基本的な考え方および仕組みを理解する。	1. プライマリーヘルスケアを説明できる。 2. ヘルスプロモーションを説明できる。 3. 地域保健活動の進め方を説明できる。 4. プリシードプロシードモデルを概説できる。
5月19日(金) 2限	非常勤講師 森谷俊樹先生	地域保健総論 2 地域保健行政の構造と機能を理解する。	1. 保健行政（WHO、厚生労働省、都道府県、市町村の関連）を概説できる。 2. 保健所と市町村保健センター、地域包括支援センターの役割を概説できる。
5月24日(水) 2限	非常勤講師 大黒英貴先生	災害時の歯科保健医療 災害のフェーズごとの歯科保健医療の必要性を理解する。	1. 災害時の時系列フェーズを理解できる。 2. 災害時の歯科支援活動を列挙できる。 3. 身元確認作業における歯科医師の役割を理解できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
5月26日(金) 2限	阿部晶子准教授	地域歯科保健各論1 母子保健・母子歯科保健 母子保健・母子歯科保健について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母子歯科保健の意義と目的を説明できる。 2. 母子歯科保健活動の仕組みについて説明できる。 3. 乳幼児歯科健康診査について説明できる。 4. 1歳6か月児、3歳児歯科健康診査のう蝕罹患型を説明できる。 5. う蝕罹患型に応じた保健指導を選択できる。
5月31日(水) 2限	南健太郎助教	地域歯科保健各論2 学校保健・学校歯科保健 学校保健・学校歯科保健について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校歯科保健の意義と目的を概説できる。 2. 学校歯科保健活動の仕組みについて説明できる。 3. 学校歯科健康診断について説明できる。 4. 学校歯科医の職務を列挙できる。
6月5日(月) 1限	南健太郎助教	地域歯科保健各論3 産業保健・産業歯科保健 産業保健・産業歯科保健について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 産業歯科保健の意義を説明できる。 2. 職域における歯科保健管理について説明できる。 3. 口腔に症状を表す職業性疾患の原因物質を列挙できる。 4. 口腔に症状を表す職業性疾患の予防法を説明できる。
6月7日(水) 2限	岸光男教授	地域歯科保健各論4 成人・高齢者保健・歯科保健 成人・高齢者保健・歯科保健について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成人・高齢者歯科保健の意義と目的を概説できる。 2. 成人・高齢者の歯科保健の現状を説明できる。 3. 介護保険制度の意義と目的を概説できる。 4. 介護保険制度の仕組みを概説できる。
6月9日(金) 2限	岸光男教授	地域医療のしくみ 地域医療を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. プライマリケアの要件を列挙できる。 2. 医療連携と医療計画を説明できる。 3. 医療施設の機能と役割を概説できる。 4. 医療の効率的提供（クリニカルパスと地域連携クリニカルパス）を説明できる。
6月14日(水) 2限	岸光男教授	社会保障制度 社会保障制度を理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会保障の種類を列挙できる。 2. 社会保険と保障の種類を列挙できる。 3. 保険診療報酬請求について概説できる。
6月16日(金) 2限	岸光男教授	医療経済 医療経済について理解する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国民医療費の財源、制度、診療種類別内訳を概説できる。 2. 国民医療費の推移について説明できる。 3. 歯科医療費の推移について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
6月21日(水) 2限	岸光男教授	国際保健 国際保健を理解する。	1. 国際保健の意義を概説できる。 2. 歯科保健の二国間協力と多国間協力を区別できる。 3. WHO, NPO, NGO, JICA の役割について説明できる。 4. WHO の開発途上国での口腔保健戦略を列挙できる。
6月23日(金) 2限	心理学・行動科学分野 相澤文恵准教授	ライフステージに対応した健康教育 学習援助型の健康教育を理解する。	1. 健康教育の目的を説明できる。 2. 健康教育の理論について説明できる。 3. 行動変容に関わる要因について説明できる。 4. ライフステージに対応した支援方法について説明できる。
6月28日(水) 2限	非常勤講師 佐々木勝忠先生	地域における保健医療福祉連携 地域における保健医療福祉連携を理解する。	1. 地域における保健医療福祉の連携の重要性を概説できる。 2. 保健医療福祉の連携方法を列挙できる。
6月30日(金) 2限	非常勤講師 米満正美先生	特別講義 疫学特論 社会の中の歯科疾患の疫学の意義を理解する。	1. 歯科疾患の疫学が国民保健にどのように貢献しているかを概説できる。

実習日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
6月16日(金) 3、4限	岸光男教授 南健太郎助教	集団歯科検診 集団歯科検診を理解する。	1. 歯科集団検診に必要な器具を列挙できる。 2. 歯科集団検診の基準統一について説明できる。 3. 歯科集団検診の手技を経験できる。 4. 歯科集団検診結果を集計できる。
6月23日(金) 3、4限	岸光男教授 南健太郎助教	検診結果の集計・統計分析 検診結果の集計・統計分析を理解する。	1. 歯科集団検診結果を解析できる。
6月30日(金) 3、4限	岸光男教授 南健太郎助教 非常勤講師 米満正美先生	健康教育 ライフステージに対応した健康教育の方法を理解する。	1. ライフステージに対応した行動目標を設定できる。 2. 視覚媒体を用いた健康教育を行うことができる。

教科書・参考書（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書名	著者氏名	発行所	発行年
教	スタンダード社会歯科学 6版	石井拓男ほか編著	学建書院	2016年
教	口腔保健・予防歯科学	安井利一他編	医歯薬出版	2017年
参	国民衛生の動向 2016/2017（「厚生 の指標」臨時増刊号）	厚生労働統計協会 編	厚生労働統計協 会	2016年
参	災害時の歯科保健医療対 策 連携と標準化に向けて	中久木康一、北原 稔、安藤雄 一編	一世出版	2015年

成績評価方法

<p>定期試験 90% 授業・実習態度および授業・実習のポートフォリオ 10%</p>

特記事項・その他

<p>提出されたレポートは、採点后、コメントをつけて返却する。</p>

授業に使用する機械・器具と使用目的

[社会と歯学]

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的
デスクトップパソコン dynabook 一式	T552/47 1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成
プロジェクター	EB-1771WC3 1	視聴覚用機器	症例提示用
デスクトップパソコン一式	Pro6300 SF/CT 1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成
デスクトップパソコン一式	MateJ MJ29M/L-G 1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成
カラーレーザープリン タ・一式	LBP9200C 1	基礎実習・研究用機器	講義・実習資料の印刷
デスクトップパソコン 一式	PC-MK33MLZE14SM 他 1	基礎実習・研究用機器	講義・実習資料の作成
A3 対応カラープリン タ・一式	LBP9100C 1	基礎実習・研究用機器	講義資料の資料印刷用